

SSH運営指導委員会をAL型で開催しました。

本校は、文部科学省のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受けています。SSHは1期の指定期間が5年間です。本校は、現在**2期目の2年目**ですので、通算すると**7年目**になります。この事業では、外部の有識者に運営指導委員になっていただき、取組についてアドバイスをいただいています。現在の委員は以下の**6名**です。

杉田 倫明	筑波大学生命環境系 教授 (地球科学者)
伊藤 純郎	筑波大学人文社会系 教授 (歴史学者)
五十嵐沙千子	筑波大学人文社会系 准教授 (哲学者)
中嶋 信美	国立環境研究所 生態遺伝子研究室長 (生物学者)
神部 匡毅	つくば市政策イノベーション部 部長
中村 健太郎	超次元空間情報技術株式会社 代表取締役社長

7月9日(月)午前中、会議室で平成30年度第1回SSH運営指導委員会を開催しました。上記6名の委員、管理機関である茨城県教育庁学校教育部高校教育課の長島指導担当課長補佐と鈴木指導主事、そして本校校内委員で会議を実施しました。

今回は、本校の吉村企画研究部長の提案により、初の試みとして、途中に**グループディスカッション**を入れました。委員2名と本校の先生3名で、3つのグループをつくりました。**すべての先生が質問し、自分の意見を述べる機会**をつくることができ、とても良かったと思います。そのあと、「対話」を再構築して**パネル**に記入し、全体会で発表していただきました。まさに「**アクティブ・ラーニング** (以下、AL)」です(^_^)!

本校は、2015年度から授業でALを推進していますが、こうした会議でもそのスタイルをとることができ、**リスペクト**に満ちた素晴らしい会議となりました。

ALを応用している**部活動**もあると聞いています。ぜひ、授業で学んだALの手法を、普段の生活にも**活用する**といいと思います(*^_^*)!!

